

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 31 日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」大阪狭山金剛校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法遵守の確保をしています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		現在、指導員数の確保ができています。	近日中に指導員の減が見込まれているため、本部には指導員の確保をお願いしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		支援室は、シンプルな空間設定とし、利用者の活動に応じてパーティションを使って、快適な活動ができるように個々の活動に応じた広さの確保をしています。	玄関を入れてトイレに行くまでに低い段差が1つありますが、利用者がそこへ行く時はついていくなど、いつも注意をはらっています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		掃除・消毒を徹底し、快適な気温・湿度に留意しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝礼や会議で、目標設定、振り返りの機会を作っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意向を聞きながら、より効果的な仕事ができるように心がけています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社HPにて公開しています。	

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価はしていませんが、常に業務改善に向けて努力をしています。今後、考えていかなければいけないと考えています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	新人研修、定例研修、また外部の研修にも積極的に参加できるようにしています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している		○	普段の授業の中で、客観的なアセスメントができるように心がけています。指導員、保護者、相談支援事業所等担当者会議で意見を元に、個々の支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	共通のアセスメントシートを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○	児童発達支援ガイドラインに沿って、子どもの将来を見据えた個々のニーズを考え、適切な支援内容を設定できるように努力しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている		○	いつも支援計画を見て、活動内容を考え、支援にあたることを徹底しています。	

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		<p>集団SST等の活動は、スタッフ全員で知恵を出し合っていて考えています。個別指導の活動プログラムについては、お互いによりよい支援のために、教材、指導法の共有・理解を目的に、常日頃から意見交換を欠かさないようにしています。</p>	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		<p>スタッフ全員で、常に新しい教材の開発を心がけています。</p>	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			<p>主に個別指導の為の指導計画を作成していますが、個別指導と平行して、集団SSTを企画して、個別指導での成果が集団SSTで生かせるように考えています。</p>
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		<p>朝礼を行い、その日の支援について、確認しています。</p>	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			<p>緊急また必要に応じて、その日のうちに振り返りをします。それ以外は、後日会議等で情報共有をしています。</p>
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		<p>常に客観的にアセスメントをし、その詳細を記録にとることを重視しています。記録を見るとその子のことがわか</p>	

				り、またそれが、モニタリング、支援計画の作成につながるようにしています。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		3ヶ月に一回、モニタリングをしています。今後は、6ヶ月に1回になります。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理者と担当指導員が参画しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係諸機関との連携をとっています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				今は、在籍者はいませんが、今後、受け入れを慎重に検討の上、可能と判断した場合は、体制を整えます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				今は、在籍者はいませんが、今後、受け入れを慎重に検討の上、可能と判断した場合は、体制を整えます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、情報共有を行っています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、情報共有を行っています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		連携をし、機会があれば研修会にも参加しています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			まだ、実施したことがありません。要望・必要に応じて、今後検討していきます。

	②⑨	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		可能な限り、地域との連携を密にとるように努力しています。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回、支援終了後のフィードバックの時間の中で、利用者の課題について、共有・理解できるように努めています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		家族とともに協力して、子どもを育てていくことを大切にしていきたいです。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明をしています。また、事業所内にも掲示しています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインを考慮した支援計画の説明を丁寧に行い、保護者からの同意を得るようにしています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		支援後のフィードバックの時間、モニタリング時、また随時に相談に応じてニーズに沿った支援を行えるように心がけています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			要望があれば検討します。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情に関しては、社内で体制を整え、迅速かつ適切に対応します。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		きりり通信、ブログ等を活用して、情報発信をしています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の持ち出し禁止、個人情報の保管場所、施錠の徹底を図っています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的に情報提供することを心がける等、個々に応じた効果的な情報伝達の方法を考え、配慮しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			まだ、実施していません。今後、検討していきます。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成し、教室内に掲示しています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月1回、防災計画を作成し、防災訓練を実施しています。全員で振り返りをし、どんな緊急時でも適切な行動ができるように訓練をしています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時、またフィードバックの時間	

				等に確認をしています。	
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時にアレルギーの有無を確認しています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書をファイリングして、事業所内に置き、みんなで共有しています。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		特別に虐待の研修はしていませんが、会議等の中で常日頃から話題にし、職員全員で気をつけています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		今は身体拘束の必要な利用者はいません。今後、必要な場合は、慎重に考慮し、十分な説明をした上で、支援計画に記載します。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 31 日

事業所名 大阪狭山金剛校 保護者等数（児童数） 26人 回収数 19 割合 73 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3	0	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	3	0	3		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	4	0	5		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	2	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	18	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	4	0	4		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	2	1	1	いつも楽しく支援をしてくださっています。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	7	6		今後、考えていきます。
保護者への説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17	1	0	1		

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	3	5	7	積極的な勉強会があれば嬉しい。	保護者対象の勉強会も計画していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	5	0	0	フィードバックの時間に、たくさんお話をさせていただきます。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	3	1	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	10	6	横のつながりがあればいいなと思う。	集団SSTの前後で、保護者会等を開催していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	4	0	5		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	4	0	3		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	4	2	6		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	2	0	6		
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	4	1	3		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	5	2	6		
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	19	0	0	0	毎回、楽しみにしています。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13	5	1	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。